

令和2年度 学校教育自己診断（考察）

【回収率】

教職員：100% 保護者：71%（前年比3ポイント増）

【各設問項目】

1. 保護者

全項目に対する肯定的評価の割合は94%でした。くわえて、それらの各項目はいずれも90%以上の高い肯定的評価をいただいています。

今年度はコロナ禍の中での学校再開から始まり、保護者の皆様にも普段以上に健康管理、衛生用品等の準備などご協力いただきました。そのうえで、学校での感染症予防のための対策や、分散登校時の動画による映像配信など、この状況下での本校の様々な取り組みに対して評価いただいているものと受け止めています。

昨年度、記述回答にてご指摘いただいた校内設備の老朽化につて、その関連項目である「6 安全安心」「7 施設・設備の点検」については10ポイント以上好転しており、補修・修繕の対応について評価いただいともと考えています。ですが、老朽化に伴う補修・修繕の必要な個所については今後も、普段の安全点検を継続してまいります。また学校HPについても先の動画配信の取り組み等により、評価が50ポイント以上大幅に好転していますが、今後も有効な情報発信の手段として内容の充実に向けた取り組みが必要と認識しています。

記述回答については、取り組みの充実をご指摘いただいたものとして、理学療法士など他職種との効率的な連携やICTを活用した授業、学校HPの活用に関してご意見をいただいています。また、今後も課題として取り組むべき内容として、避難訓練など災害に対する備え、児童生徒への個別の配慮に関して、PTA活動についてご意見をいただいています。これらにつきましては、各部署と課題を共有し取り組みの充実や改善に努めてまいります。

2. 教職員

全項目に対する肯定的評価（80%以上）の割合は65%でした。前回より10ポイント以上好転しています。また昨年度、課題としてあげた「11 校種間連携」「22 防災に関する取り組み」も前回より肯定的評価の数値が5ポイント、14ポイントそれぞれ上昇しています。逆に「5 職員会議をはじめ部会や学年会」の機能については前回より11ポイント評価を下げています。評価を下げた点については、コロナ禍の中で計画していた様々な取り組みの変更が重なり、物事の決定までの流れが通常とは異なった学校運営になってしまったことによるものと考えています。

また昨年度評価の低かった「27 教育活動に必要な情報」「28 情報提供の手段（学校HP）」についてはともに10ポイント以上数値が好転しています。これらは動画配信の取り組みやその他、コロナ対策等の周知に対して一定の効果があつたと実感しているものと考えています。

記述回答については、取り組みの充実を指摘するものとして、支援機器、教育課程編成について等があがっています。また改善や検討を要するものとして指摘されているは、学校運営に関する事柄を決定するにあたり、決定に至る経過の透明化や合意形成の手順等について、また様々な計画変更があつた際の合意形成と全体周知の手順、更には校内体制作りにおける教員の配置について等、指摘をいただきました。これらにつきましても、各部署と課題を共有し、必要に応じて協議の場を設け、改善に向けた具体的な取り組みが提案できるよう努めてまいります。

ご意見欄 （要約）

【保護者】

- ・連絡帳を電子化してはどうか。
- ・「こうした方が良い」と思うことがあれば、教員からの意見もいただきたい。
- ・他の職種と効率的に連携できれば、より教育活動が充実するのでは。
- ・PTA 役員、委員の選出方法について再考いただきたい。
- ・ICT 機器の充実と授業での活用を進めていただきたい。
- ・災害時の対応について、安心できる体制を整えていただきたい。
- ・授業時の様子を伝えるなど学校 HP の有効な活用を進めていただきたい。
- ・学校間交流について個別の配慮をしていただきたい。

【教職員】

- ・支援機器の充実、学習環境の整備、本校の実態に応じた教育課程編成の更なる検討。
- ・組織体制の整理と計画の決定・変更における経過と合意形成に至る流れの整理。
- ・校舎の老朽化への対応、防災、防犯における計画の見直し。
- ・教員の適性を踏まえた校内体制作り。
- ・授業時の様子を伝えるなど学校 HP の有効な活用。